

月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で jim@geppou.asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず Fax で 0422-31-5487 迄お送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)、
2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、
3. 専門分野、
4. 職務内容・担当科目、
5. (1) 着任時期、(2) 任期、
6. 応募資格、
7. 提出書類、
8. 応募締切・受付期間、
9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、
10. 応募上の注意、
11. その他 (待遇など)

宇宙科学研究所

宇宙科学企画情報解析センター助教授

1. 助教授 1名
2. 宇宙科学企画情報解析センター
3. 宇宙科学
4. 本センターでは科学衛星アーカイブデータベースの構築、解析支援システムの開発、センター計算機、衛星運用計算機、所内 LAN の管理運営を行っている。今回の公募では、宇宙科学分野で衛星観測データ解析や計算機シミュレーション等の研究を推進し、大学院教育に参加すると共に、大学共同利用機関の役割を理解し、本センターのデータベース・計算機・ネットワークの管理運営に中心的な役割を果たしていただける人材を求める。
5. (1) 決定後なるべく早い時期。
7. (1) 略歴、(2) 研究歴、(3) 論文リスト及び主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 自薦の場合は本人について意見を述べられる方 2名の氏名と連絡先、他薦の場合は 2名の方からの推薦書。

8. 平成 14 年 2 月 28 日(木) 必着
9. (1) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学研究所 庶務課人事係
Tel: 042-759-8010
- (2) 〒 229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
宇宙科学企画情報解析センター長 長瀬文昭
Tel: 042-759-8351
E-mail: nagase@astro.isas.ac.jp
10. 封筒の表に「宇宙科学企画情報解析センター助教授応募書類在中」と朱書きし、送付のこと。選考は、宇宙科学研究所運営協議員会において行う。応募者に適格者がいない場合は決定を保留することがある。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

国立天文台野辺山電波観測所

1. 第 94 巻 10 号
2. 斎藤正雄 (Smithsonian Astrophysical Observatory)
3. 2002 年 4 月 1 日

研究助成

第 33 回平成 14 年度

三菱財団自然科学研究助成応募要領

1. 助成の趣旨

近年の自然科学の進歩はめざましく、各学問分野の研究の深化はもとより、分野間の相互作用によりつぎつぎに新たな研究領域が誕生しつつあります。このような状況のもとで本事業は、これらの科学・技術の基礎となる独創的、かつ先駆的研究とともに、既成の分野にとらわれず、すぐれた着想で新しい領域を開拓する萌芽的研究に期待して助成を行います。

すぐれた独創的な研究は、医・理・工・農・薬等、自然化学の分野を問わず、全て助成の対象と致しますが、分野にまたがる新しい現象を模索する理論や、環

境の基礎的研究も対象と致します。

なお、この助成金は研究達成のため十分に活用できるように、その用途をとくに制限致しません。

2. 助成の概要

(1) 助成金額

総額3億円を予定。1件当たり2千万円以内とし、採択予定件数は30件程度を目途と致します。なお研究の性質上比較的少額で足りる内容のものも充分考虑されます。

(2) 助成金使途

上記助成趣旨に記載の通り、制限はありません。通常の設備費、消耗品費、旅費等は勿論、研究上特に必要な場合は、研究補助者への謝金等も可(但し当該代表研究者がこれらすべての運用責任を持つ)とされます。

3. 応募方法

(1) 「助成申込書」の作成

“申込書の内容・書式”は、当財団インターネットホームページ上にて“財団概要”、“助成応募要領”等共々、これをご参照下さい。

「ホームページアドレス」

<http://www.mitsubishi-zaidan.or.jp>

4. 応募資格・助成期間・選考方法・結果通知等々については上記ホームページを参照下さい。

財団法人 三菱財団

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号
(三菱ビル15階)

Tel: 03-3214-5754 Fax: 03-3215-7168

〈応募期間〉

平成14年1月18日(金)～平成14年2月14日(木)
(期限内に必着のこと)

研究会・集会案内

岡山天体物理観測所の特別天体観望会のご案内

国立天文台・岡山天体物理観測所は、来る2002年3月16日(土)に188cm反射望遠鏡による特別天体観望会を行います。観望会に参加するには事前申し込みが必要になりますので、下記要領にしたがってご応募ください。

日時：2002年3月16日(土)19:00以降、1時間程度を予定。

場所：国立天文台・岡山天体物理観測所

内容：188cm反射望遠鏡による天体観望会。観望する天体は、木星、土星、オリオン星雲を予定。

申し込み方法：事前申し込みが必要。2月21日(木)必着で、往復ハガキに代表者の住所、氏名、年齢、電話連絡先のほかに、参加者全員の氏名、年齢をもれなく記入のこと。参加者総数はハガキ1枚につき4名まで。小学生には保護者同伴のこと。定員50名(応募者多数の場合は抽選)。

ハガキ宛先：

〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄3037-5
岡山天体物理観測所 特別天体観望会係

交通：観測所が手配するバスにて、JR鴨方駅と観測所の間を送迎。

備考：申込者全員に3月1日(金)までに結果の連絡を行います。

問い合わせ先：

国立天文台・岡山天体物理観測所

〒719-0232 岡山県浅口郡鴨方町大字本庄3037-5

Tel: 0865-44-2155 [代表] Fax: 0865-44-2360

URL: <http://www.cc.nao.ac.jp/oa>

「銀河学校2002」生徒募集

東京大学木曾観測所では、自然科学に興味を抱いている高校生を対象に、毎年銀河学校を開催しております。参加者は観測所に泊り込み、天文学者と一緒に、口径105cmシュミット望遠鏡を使って観測を行ないます。そしてさらにワークステーションを用いてそのデータを解析し、実際の研究活動を体験することができます。他にも参加者どうしの交流を深める交歓会を行ないます。参加をご希望される方は、下記の要領で木曾観測所まで応募して下さい。

期日：2002年3月25日(月)13時30分 JR木曾福島

駅前集合～27日(水)15時 JR木曾福島駅前解散

対象：平成13年度高校生 12名

実習内容：多色撮像による系外銀河の色分布の研究

場所：長野県木曾郡三岳村 東京大学木曾観測所

費用：交通費+滞在費4000円(食事代+傷害保険料)

応募方法：郵便番号、住所、氏名、生年月日、性別、電話番号、学校名、学年を明記。800字程度の作文を提出していただき、それをもとに観測所で選考を行ないます。

作文課題：

「子供に銀河って何?と聞かれたら何と答えますか」

応募〆切：2002年2月28日(木)必着

選考結果：3月10日までに応募者全員に結果を通知します。

宛先：〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

東京大学木曾観測所

問合せ：東京大学木曾観測所

Tel: 0264-52-3360 Fax: 0264-52-3361

ホームページ：<http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/>

第2回「TAMA シンポジウム」

主催：科学研究費学術創成研究「高感度レーザー干渉計を用いた重力波天文学の研究」総括班，科学研究費特定領域研究(A)「重力波研究の新しい展開」総括班

日時：2002年2月6日(水)13:30～8日(金)

場所：東京大学山上会館大会議室

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

Tel: 03-5841-2320

内容：今年度は7年間にわたる学術創成研究「高感度レーザー干渉計を用いた重力波天文学の研究」の最終年度にあたるので，TAMA300重力波検出器を始めとする重力波研究のこれまでの成果について講演報告する。また，H13年度からは特定領域研究(A)「重力波研究の新しい展開」が発足しているので，将来計画に向けての取り組みも紹介する。その他，諸外国の大型計画(LIGO,VIRGO等)についても当事者による現状報告を予定している。また，これ以外の重力波研究に関する講演も公募する。

連絡先：〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学大学院理学系研究科物理学専攻
坪野公夫

Tel: 03-5841-4141 Fax: 03-5841-4279

E-mail: tsubono@phys.s.u-tokyo.ac.jp

—天文学講演会・南天に広がれ宇宙ロマン9—

宇宙はここまでわかってきた

「ハッブル」から「なんてん」まで

20世紀，宇宙の研究はすばらしい飛躍をとげました。最近では，ハッブル宇宙望遠鏡に始まり，「すばる」，VLT，そして「なんてん」などの新しい観測装置が，次々に新たな宇宙の素顔を解明しています。この講演会では，最新の画像を駆使して，テレビなどで

は取り上げられない宇宙研究の成果とその意味を，第一線の天文学者がわかりやすく解説します。

名古屋会場

日時：平成14年2月10日(日)

13：30開会 16：30閉会

会場：名古屋大学豊田講堂（名古屋市中種区不老町）

定員：800名

金沢会場

日時：平成14年2月16日(土)

16：00開会 19：00閉会

会場：三谷産業株式会社（石川県金沢市玉川町1-5）

定員：90名

東京会場

日時：平成14年3月24日(日)

13：30開会 16：30閉会

会場：一橋記念講堂

（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター

地下鉄「竹橋」駅または「神保町」駅徒歩5分）

定員：400名

講師：福井康雄（名古屋大学大学院 教授）他

参加費：無料

参加方法：先着順とさせていただきます。定員オーバーの節はご了承ください。

連絡先：〒464-8602 名古屋大学大学院理学研究科
天体物理学研究室

Tel: 052-789-2839 Fax: 052-782-3951

E-mail: yoshida@phys.nagoya-u.ac.jp

主催：名古屋大学なんてん電波天文台

<http://www.a.phys.nagoya-u.ac.jp/~nanten/index.html>

後援：名古屋大学星の会

共同利用・共同研究

平成14年度

国立天文台共同研究等の公募について

1. 公募事項・内容

(1) 研究会・ワークショップ：国立天文台研究会及び同ワークショップ。（研究員等旅費及び必要な場合，校費（印刷費等）を支給）

(2) 共同研究：国立天文台の教官と天文台外の研究者により特定の研究課題について共同で行われる研究（研究員等旅費を支給）。本研究は，研究の形態により以下の3つに区分して募集します。

2001 年度天文学会に御寄付を戴いた方々です。
有り難うございました。深く、御礼申し上げます。

(敬称略/受付順)

亀野誠二 佐藤裕久 佐藤修二 稲谷順司 箕輪敏行 徳丸宗利 金子英滋 早瀬正郎
釜江常好 河野宣之 浜 真一 松本誠樹 舞原俊憲 杵鞭充千男 藤本正樹
北村 剛 高野宏一郎 藤本剛二 佐藤明達(再掲) 川口市郎 瀬尾秀彰
海野和三郎 加藤太一 水間嘉典 中井直正 石黒正人 宮脇亮介

(研究区分)

- ①少人数型：少人数・短期の場合
 - ②長期単独型：台外研究者が1人で、1週間以上滞在する場合
 - ③多人数型：台外研究者が4人以上の、目的を明確にした共同研究の場合
- (3) 共同開発研究：共同利用観測・共同利用実験に関わる新しい装置等の開発・製作、また、より基礎的開発研究についての共同研究。(校費を主とし、必要な場合、研究員等旅費を支給)
- 本研究は天文観測研究のために有効な機器等(ソフトウェアも含みうる)の開発研究を促進することを目的とし、開発研究としての意義、共同利用への有用性、大学など各機関における研究への寄与等を重視して審査します。平成14年度は、1件50～1,000万円で7～8件を採択する予定です。
- なお、本研究については、採否を決定するにあたって、ヒアリングを行うことがあるので、御承知ください。
2. 申込資格：国・公・私立大学及び国・公立研究所等の研究者又はこれに準ずる者(大学院在学中の者は指導教官と連名で申し込んでください)。
 3. 申込方法：所定の様式による申込書1部を提出してください。
- なお、研究の内容、経費等については、本天文台の担当教官とあらかじめ打ち合わせてください。(担当教官が不明な方は、藤本研究交流委員会委員長《Tel: 0422-34-3622》に相談して下さい。)
4. 申込締切日：平成14年2月28日(木) 厳守
 5. 選考：応募研究課題の採否及び経費配分は、国立天文台研究交流委員会にて審査し、運営協議委員会の議を経て、台長が決定します。
- なお、共同開発研究で研究期間が年度をこえるものについては、申請書にその旨記載のうえ、次年度にあらためて新規公募手続きに従って申込書を提出してください。
6. 採択通知：採択の決定は、平成14年5月(予定)に行われ、結果を各申請者に通知します。
 7. 所要経費：予算の範囲内において本天文台で支出

します。

8. 施設等の利用：諸施設の利用については、天文台諸規則を遵守し、責任者の指示に従ってください。
 9. 研究報告：研究終了後、30日以内に所定の様式による報告を台長あて提出してください。
- なお、提出された報告書は、本天文台の広報誌等に掲載することがあります。
10. 申込書提出先及び問合せ先：
 - 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1
 - 国立天文台管理部庶務課共同利用係
 - Tel: 0422-34-3660・3661
 - ホームページ <http://www.nao.ac.jp/pio/kouryuu/>

その他

「第43回科学技術映像祭参加作品募集」

科学技術に関する優れた映像作品を募集。分野は「科学教育」「基礎研究」「科学技術」「医学」「ポピュラーサイエンス」の5部門。参加資格は日本所在の製作者、企画者(スポンサー)、テレビ局、学術研究機関、及び個人の製作で、2001年2月1日～2002年1月31日までに完成または放映した映像作品。応募締切は2002年1月31日まで。

3月中旬に内閣総理大臣賞1作品、文部科学大臣賞14作品を発表。

● 問合せ先：

日本科学技術振興財団内 科学技術映像祭事務局
Tel: 03-3212-2454 Fax: 03-3212-0014
URL <http://ppd.jsf.or.jp/shinko/pro/s-m/index.htm>

会務案内

IAU アジア太平洋地域会議に向けて 募金を訴える

IAU-APRM 実行委員長：池内 了

今年の7月初旬にIAUアジア太平洋地域会議 (APRM) が東京で開かれます。この地域の会議としては1984年(京都)以来日本では18年ぶりですが、この間に天文学はこの地域においても大きく発展しました。

今回の会議では、すばるを始めとするマウナケア山頂の諸施設、南米のアルマ計画、中国のLAMOST計画、また、科学衛星や宇宙探査機などの観測計画など、大型装置による天文学が大きな焦点になります。先進諸国では大型装置を基盤として観測、理論を含めた天文学の研究と教育、普及が進んでおり、会議では情報の交換や共同研究のための協議なども重要な課題になるでしょう。

それに対し、発展途上国の天文学はどうでしょうか。アジア太平洋地域の多くの国々では研究者の数も少なく、観測装置も限られていますが、どの国も天文学への関心は高まっており、教育、普及面での努力から、天文学研究を立ち上げたいという希望も高まっています。

アジア太平洋地域会議はこのような多様な国、地域の集会として、研究情報の交換のみならず、発展途上にある国々との連携も会議の重要な任務となります。その成功のためには、APRMに多くの研究者が参加できる条件を作り出す必要があります。特に、未来を担う若い研究者の参加が望まれます。そのためには資金的な援助が必要ですが、財政的には厳しい状態になっています。

APRMの開催資金としてIAUからの助成の他に、文部科学省の国際会議開催経費、IAU京都基金、いくつかの科研費、天文財団などに申請していますが、現在確定した収入額は700万円程度です。これから会場費、アブストラクト、集録などに支出すればほとんど

残りません。その他にも科研費や財団等に申請する予定ですが、それでも若手研究者や途上国の人たちを招待する予算は極めて限られたものになると予想されます。

そこで、少しでも多くの参加を得るために、学生や若手研究者(1962年以降生まれ)への旅費補助を主な目的とした寄付金募集をしたいと考えました。募金の目標額は300万円で、募金要項は別紙のようにしたいと思います。この額に組織委員会からの資金を加え、20~30人程度の旅費補助に当てられれば、と考えています。

天文学会会員、天文関係者諸氏のふるってのご賛同をお願いする次第です。

《IAU アジア太平洋地域会議募金要項》

1) 募金の概要

募金委員会を立ち上げて、募集、配分決定、通知、補助の手渡しを行う。

現在の予定では、募金委員会の構成として、池内SOC委員長(代表)、長谷川LOC委員長、嶺重LOC委員、小暮京大名誉教授、釜谷京大助手。

よびかけは会員に天文月報とtennetを使って行う。なお、賛助会員には直接郵送する。振り込んで頂く郵便振替口座名は「IAU アジア太平洋地域会議振興基金」(口座番号00930-6-5740)とし、郵便振替の用紙を1月末発行の天文月報2月号にはさんでもらう。

募金締め切りは5月末とする。募金の目標額は300万円。

最終的に募金して頂いた方のお名前と総額を、天文月報に報告する。

2) 募集から配分決定・通知の事前実務

旅費援助申し込み者には(1)氏名(2)国籍(3)現職、所属(4)生年月日(5)旅費の概算(6)申し込んだ講演・ポスターの題目(7)理由書(200語まで)を登録の際書いてもらう。申し込み締め切りは3月末。

配分については、募金委員会で5月末までに決定。結果を適時応募者に知らせる。なお問い合わせ先は

E-mail: aprm2002@yukawa.kyoto-u.ac.jp

(担当嶺重、釜谷)

3) 募金の手渡し

原則として、会議当日、会場で募金委員会から本人に直接手渡し。

編集委員 上野宗孝(編集長)、伊藤孝士、上田暁俊、大石奈緒子、太田耕司、

小野智子、斎藤芳隆、土橋一仁、内藤統也、藤田 裕

平成14年1月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷

定価700円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務室) / 0422-31-5488 (月報・欧文編集) Fax: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: jimug@geppou.asj.or.jp DTP: 峯尾由紀子